

学生・一般の部暗誦課題文 狼来了（狼が来た）

昔々、ある羊飼いの少年が、毎日山へ行って放牧をしていました。

ある日、彼はとても退屈でたまらなかったので、人をからかって楽しもうと思いました。彼は、山の下で農作業をしている人々に向かって、大声で叫びました。「狼が来た！狼が来た！助けて！」人々はその叫び声を聞いて、急いで鋤や鎌を手にして山へ駆け上りました。彼らがハアハアと喘ぎながら山に着いて見ると狼の姿などはありませんでした。羊飼いの少年は、アハハと大笑いしました。「ああ、面白い！みんな罠に掛かった。」みんなは腹を立てて帰りました。

次の日、羊飼いの少年はまた同じことをして、善良な人たちは、狼を追い払って彼を助けるために駆けつけました。しかし、狼の影さえも見当たりませんでした。羊飼いの少年は、お腹を抱えて大笑いしました。「ハハハ！みんな又騙された！」みんなは、少年が一度ならず二度、三度と嘘をつくことにとっても怒って、これから二度と彼の話は信じないことにしました。

数日後、狼が本当にやって来ました。羊飼いの少年は、とても怖くて必死に叫びました。「狼が来た！狼が来た！早く助けて！狼が本当に来たよ！」みんなはその叫び声を聞きましたが、また嘘を言っていると思って、誰も相手にしませんでした。結局、少年の飼っているたくさんの羊がかみ殺されてしまいました。